

一般国道55号阿南道路新那賀川橋下部工事報告

建設省四国地方建設局徳島工事事務所 吉田 勲
大西 唯義
〇瀬戸 寿和

1. 序 章

新那賀川橋は、一般国道55号阿南道路内の一級河川那賀川に計画された延長57.9mの橋梁であり、昭和63年12月より施工中である。本報告書は、橋梁下部工の中から鋼管矢板井筒工について工事報告するものである。

2. 鋼管矢板打込

河川内に設けられる橋脚部分をドライアップさせるために、平面から見て小伴型に閉合するように鋼管杭 $\Phi 1.0$ mを打込んだ。当初は中堀圧入最終打撃工法を予定していたが、粘性土質により試験杭打ちにおいて圧入が不可能であったため、下杭はVHを用い上杭は中堀と油圧ハンマーの併用により打込んだ。

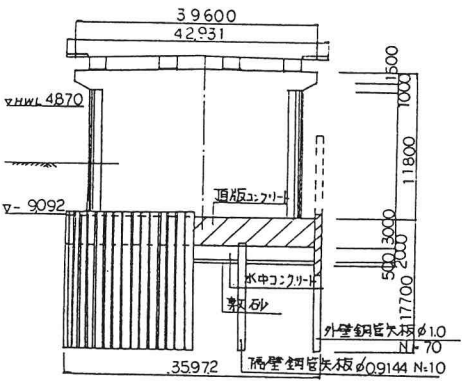
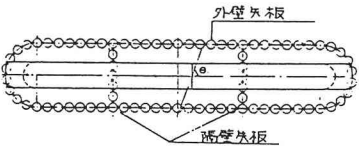


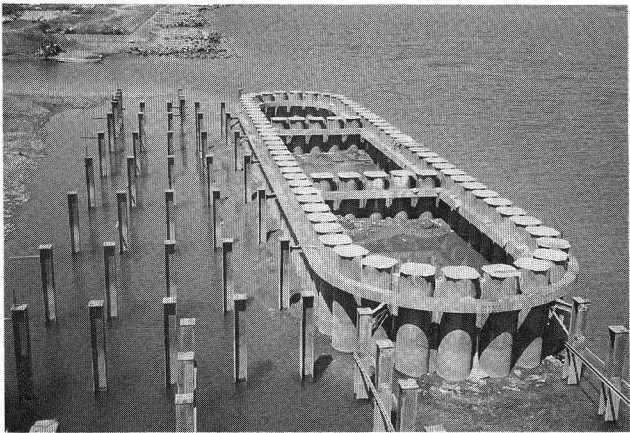
図-1 橋脚一般図

3. 鋼管継手及び底板

鋼管継手にはモルタルを注入し、底部には水中コンクリートを打設することで井筒内のドライアップを計ったが、湧水が生じたために $\Phi 100$ mm潜水ポンプが必要であった。



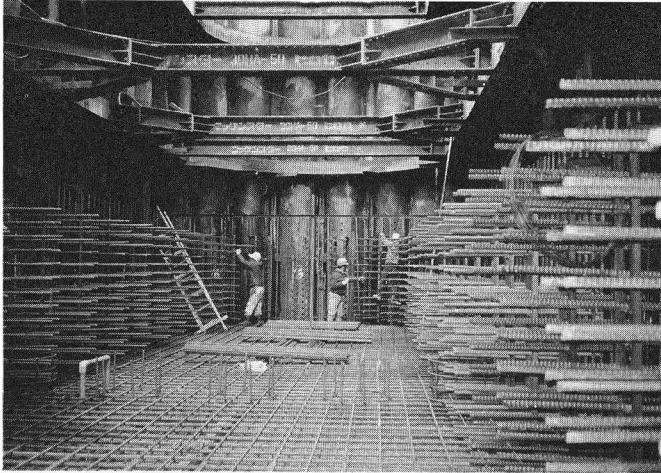
写-1 矢板併合状況



4. 頂版及び軀体

鋼管の頂版部分には孔あり差し筋を行い鋼管杭基礎と橋脚本体との一体化を行った。軀体がマシブなために、初期硬化時において軀体コンクリートには内外部の温度差によるクラックが生じる恐れがある。クラック防止対策としてはクーリングパイプによる養生を施した。

写-2 差し筋完了状況



5. 終章

井筒工橋脚のうちP2、P3、P5、P7橋脚は完成し、P4、P6橋脚は軀体施工を残すのみである。現在、平成5年東四国国体に向けてA2橋台施工、上部製作が進行中である。

写-3 軀体完成状況

